



営農ウィークリーNEWS

「京はたけ菜」優良品種の栽培試験



羽束師支店管内の南部みず菜部会は、2017年より地域特産物の畑菜を「京はたけ菜」として、新たな統一出荷容器を使用し、京都市場へ出荷をしています。

畑菜は、アブラナ科の一種で採油向けに古くから栽培されてきたものが食用に改良され、京都で江戸時代から作られていたとされ、京の伝統野菜の一つです。

今回、羽束師地域で古くから技術伝承されてきた在来種と市販の各種苗メーカーの品種の

特性を比較するため栽培試験を行っています。

2020年3月には、収量調査などを行い、品種の特性などを検証し、近年の気象変化に対応する優良品種なども選定することとしています。



—TAC information—

特産品「花菜」ブランド出荷開始！



JA 京都中央長岡京花菜部会が栽培する特産「花菜」。今年の生育は順調で、順調に出荷量も伸びてきました。本日、目合わせ会が行われたのち、いよいよブランド出荷が開始されます。特産品「花菜」は、京都市場や東京市場に出荷されます。近年は、大阪や福岡などにも販路を拡大しています。2019年度の「花菜」は、約60トンの出荷量を見込んでいます！